



the most beautiful
villages in japan

曾爾村
奈良県

ぬるべの郷 曾爾村の取り組み



曾爾村長

芝田秀数

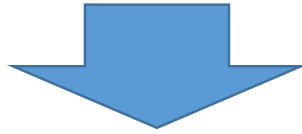
本日お話しする取り組み

- シェアキッチン「そにのわの台所katte」
- 移住促進団体「SONI SUMMIT」
- 地域資源を生かした体験プログラム
「そにのわGLOCAL」

「そののわの台所 katte」について

農産物加工所の活用問題

約30年前に開設し、蕎麦の佃煮や桑の実ジュース等を製造していた農産加工場だが蕎麦や桑の実も採れなくなり、十分に活用されていなかった。新規就農者や移住者から「加工品を製造できる場所がほしい」という声があがっていた。



令和元年8月 シェアキッチン
立ち上げに向けたWS開催



製造するだけでなく食を起点とした交流拠点として再生

農産加工場をリノベーションし、製造許可付きシェアキッチン、WSやカフェスペースにもなるシェアルーム、商品を販売できるショップを備えた「そののわの台所katte」が令和2年7月オープン。

地域資源や規格外野菜を活用したオリジナル商品の製造や新規就農者や飲食起業者の支援、高齢加工グループや高齢農家のサポートなど食を通じて地域課題の解消に取り組む。また近畿大学農学部との商品開発や実習の受け入れ、村の小学生と商品を考え販売する取り組みなど、村内外と連携したプロジェクトも行っている。



そののわの台所

Katte

katteの取り組み



01 シェアキッチンの貸出

商品を製造するための設備と製造許可を6つ取得している業務用キッチンの貸出。



02 オリジナル商品の製造

規格外野菜や村にある素材を活用し、katteオリジナル商品の開発・製造を行う。



03 食を学ぶ体験コンテンツ

村の素材を活かした料理教室やワークショップなどのコンテンツを企画。



04 食文化・資源の継承

暮らしのなかで紡がれてきた知恵やレシピ、守られてきた資源を未来へと繋げていく。



05 新規就農者、高齢農家や加工グループのサポート

新規就農者の販路拡大や規格外品の買取、高齢農家・高齢加工グループの製造・販売のサポートを行う。



06 食の創業支援

飲食店を開きたい人がキッチンやマルシェを活用し、お店を開くまでの準備ができ、繋がりを持つこともできる。



07 ショップでの加工品販売

katteオリジナル商品やキッチン利用者が製造した商品、また村内の加工グループが作る商品を販売。



08 マルシェ・オンラインストアの運営

村民に向けて野菜や飲食を提供するマルシェの開催、村外に向けて野菜と加工品を発送するオンラインストアの運営。



09 村内での連携

村の加工グループと新商品の共同開発や、村の小学生とレシピ開発や商品開発を行う。



10 村外との連携

大学生との商品開発やレシピ開発、村外のクリエイターと一緒に企画・PR活動などを行う。

“令和4年度のグッドデザイン賞を受賞”

食を起点に村内外の人がつながり合う場になっていること、農業の持続可能性・地域自然の価値化などに取り組んでいることが評価されました。

一般社団法人SONI SUMMIT

曽爾村として、移住・定住促進を図ることが地域の発展につながるのではと考え、移住・定住支援のきめ細やかなサービスを提供できる組織がほしい、という背景のもと一般社団法人SONI SUMMITが設立されました。

事業内容

移住・定住支援センター(仮称)

移住希望者/移住者のワンストップ窓口として、地域とつながる拠点となるよう運営。
また、地域住民に対しても空き家や仕事のことなどを気軽に相談できる場にします。

すまい		しごと		地域とのつながり	
空き家 バンク	空き家 活用	起業 支援	村内雇用の 創出	交流イベント 運営	旧小学校 管理

令和3年12月設立



今後の事業展開(案)

すまい	空き家バンク	空き家と移住希望者をつなぎます
	空き家活用	大規模な改修を要する空き家に対して行う、村の各種事業をサポートします
しごと	起業支援	起業型地域おこし協力隊制度を活用する等、移住・起業者の伴走支援を行います
	村内雇用の創出	観光協会・商工会等と連携して、村内雇用の見える化を図ります
地域とのつながり	交流イベント運営	移住者と地域住民をつなぐための、イベントやワークショップを運営します
	旧小学校管理	旧曽爾小学校の管理運営を行います

移住希望者への支援として、“すまい”・“しごと”・“地域とのつながり”をトータルしてサポートすることを目的としています。

主な取り組み



移住定住促進 Webサイトの作成・運用



移住セミナーの実施



移住に関するパンフレットの作成



移住フェアへの出展

■一般社団法人そにのわ GLOCAL の概要

令和2年4月設立

村の中に点在する地域資源を発掘し、村民だから知り得る村の真の魅力を伝える「村民参加型ツアープログラム」や、村の課題を知り持続可能な地域の未来を共に考える「学生向け教育プログラム（教育ツーリズム）」の提供等を行うために、令和2年4月1日に曾爾村と地域住民が協働で設立しました。

主に、インバウンド・国内向けのオリジナル体験ツアー・プログラムを提供しています。

社名には「地元（ローカル）の価値を村の古老など（Local wisdom）と一緒に紐解き、グローバルにその価値を波及させていく」という思いを込めています。



【SONI Experience（ソニ・エクスペリエンス）とは？】

「『SONI = 曾爾村』の真の地域資源を『Experience = 体験』していただきたい」、という意が込められたサービス名です。

■一般社団法人そののわGLOCAL - 事業紹介

旅行事業（個人向け・事業者）

①募集型企画旅行

（パッケージツアー）

訪問先、ルート、期間、代金を予め決めて販売し、参加者を募る旅行のこと。

- ・心身健美ツアー
- ・単発体験、半日体験、1日体験

→リニューアルサイト制作中

②受注型企画旅行

（オーダーメイドツアー）

旅行者の希望に応じて、旅行プランを企画するカスタム旅行のこと。

- ・問い合わせ内容次第

③手配旅行

旅行者の依頼を受け、レンタカーやバス等の交通手段の手配、宿泊施設や飲食店の予約を行うこと。

- ・三重交通、トヨタレンタカー、自社レンタサイクル（そののわサイクリング）、村内宿泊飲食業者

教育事業

（株）ROOTS

（香港理工大学デザイン学部）

近畿大学

国立青少年自然の家

現在は、1日1組2～5名の少人数向け旅行の募集型企画旅行と受注型企画旅行を主に実施中。

(一社) そののわGLOCAL

台湾の義守大学インターンシッププログラム

就職を控えた美術学生が約1ヶ月間、企業に従事しながら地域課題と向き合い、デザインの力で解決策を見出す<社会課題解決デザイン（ソーシャル・デザイン）プロジェクト>。そのプロジェクトの第1回目として、本年度は台湾の義守大学から創意商品設計学科（Creative Product Design）の大学生2名（2回生1名、3回生1名）が村の新しい観光事業を担当する官民連携の旅行会社（一社）そののわGLOCALにインターンシップで来てくれました。

■期間：令和4年8月1日（月）～8月31日（水）

■ミッション：①地域の中に入り、暮らしを学び、体験する

②そののわGLOCALの体験サービス「SONI Experience」のプログラムを表現した一枚絵のキービジュアル制作

③ツアー商品の写真モデル・カメラ係

④現地の学生と国際交流する



①地域の中に入り、暮らしを学び、体験する



地域の方で維持管理をしている村の小さな米焼酎工房を視察。



歴史的な文化登録をされている古民家で暮らす村民さんの家を見学し、発酵食のある暮らしを学んだ。



ご自宅で収穫とピザづくり体験を提供されている村民さんを訪問し、夏野菜が実る畑を見学。



村に咲く花で生け花



村の植物でハエたたきづくり



草引きの手伝い



梅干しの札のデザイン制作

②そのわGLOCALの体験サービス「SONI Experience」のプログラムを表現した一枚絵のキービジュアル制作



外国人目線で、曾爾村の美しい自然の中で暮らす人々の日常を描いています。滝の横でヨガをしている様子、漆かき、曾爾村の特産品であるトマト・ほうれん草を育てる農家さん、その特産品を使用した料理教室、ご近所の方が野菜をおすそわけしている一場面、300年続く曾爾の獅子舞、小学校の子供たちがそれを見て踊っている様子、美しい水が源泉のお亀の湯など。

③ ツアー商品の写真モデル・カメラ係



電動自転車のレンタサイクル事業「そにのわサイクリング」の
写真撮影

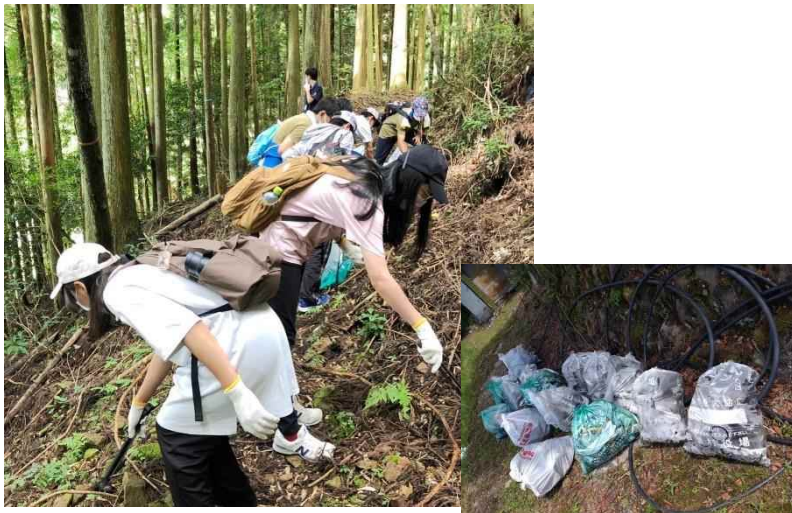


漆文化復興施設で漆を学ぶツアーの一場面



曾爾村産の野菜を使用した料理教室

④ 現地の学生と国際交流する



添上高等学校の学生たちと、天然記念物ヒダリマキガヤ群生地周辺のゴミ拾い



添上高等学校の学生たちと獅子小屋見学



奈良教育大の学生と国際交流



曾爾小中学校の生徒たちに、台湾文化交流ワークショップを開催。台湾語のレクチャー、台湾のお祭りランタンフェスティバルにちなんだ折り紙のランタンに台湾語で願いをかくなど。

ご清聴ありがとうございました



曾爾村
奈良県

